

額ヲ調定シ各申請者ニ對シ給付ノ手續ヲ爲シタリ
價格決定ニ對スル異議ノ申立ハ決定價額ヲ以テ不當ナリトナスノミナラス交付金ヲ下付セサル
モノトシテ製鹽用物件ヲ除外シタル處分ヲモ不當ナリトシ裁定ヲ要求セシモ大藏大臣ハ其ノ價
額ニ對シテハ鑑定人ヲ選定シテ意見ヲ徵シタリシニ決定價額ト同一ナリシヲ以テ專賣局長官決
定ト同一價額ニ裁定シ併セテ專賣局長官カ製鹽用物件ニ對シ交付金ヲ下付スヘカラサルモノト
シテ除外シタル處分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲シ得サルモノトシテ其ノ申立ヲ却下シタリ然ル
ニ異議申立者七人ノ内四人ハ之ニ承服スルニ至リタルモ餘ノ三人ハ遂ニ行政訴訟ヲ提起シタリ
其ノ出訴ニ至リタルハ青森縣淺虫ニ於ケル製鹽關係者ニシテ交付金申請額四萬八千餘圓ニ對シ
大藏大臣裁定額ハ八千餘圓ニ過キサリシヲ行政裁判所ニ在リテハ數回ノ口頭審問及實地檢證並
鑑定等ヲ經テ一萬餘圓ニ判決シ二千餘圓ヲ増加給付スルニ至リタリ而シテ其ノ判決ニ依ルトキ
ハ專賣局長官ノ除外處分ニ對スル不服申立ニ在リテモ法ノ趣旨ニ於テハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘ
キモノト爲シ專賣局ノ見解ヲ否認シタリ

第五款 交付金ノ給付並整理ノ結果

交付金ノ給付

交付金給付額ハ鹽及鹹水製造者ニ對スルモノ二十二萬餘圓製鹽地所有者ニ對スルモノ二百七萬
餘圓建物設備器具器械所有者ニ對スルモノ三十八萬餘圓合計二百六十八萬四千三百六十九圓十
錢ニシテ明治四十三年度ニ在リテハ一萬三千五百四十五人ニ對スル給付額百三十六萬六千七百
十五圓二十一錢ニシテ平均一人當百圓九十錢ニ止マリシモ同四十四年度ニ在リテハ千七百七十
三人ニ對スル給付額百三十一萬七千六百五十三圓八十九錢ニシテ平均一人當七百四十三圓十七
錢ニ上レリ此ノ如ク兩年度ニ於テ一人當平均額ニ多大ノ懸隔アリシハ全ク製鹽狀態ノ相異ニシ

テ、四十三年度整理ニ在リテハ微々タル製鹽多カリシモ四十四年度整理ニ在リテハ鹽業組織ニ於テ其ノ趣ヲ異ニシ其ノ事業ノ大ナルモノ多カリシニ由ル殊ニ四十三年度整理ノ分ニ在リテハ給付額僅ニ一圓ニ滿タサルモノ各所ニ於テ少カラサルナリ而シテ給付額ノ内二百四十三萬六千五百圓ハ國債證券ヲ以テ二十四萬七千八百六十九圓十錢ハ現金ヲ以テ之ヲ給付シタルコト左表ノ如シ

支局名	市町村數	交				付		金		額		計		國債		現	
		交付金支 給人員	鹽製造者	録水製造者	製鹽地	建物	設備第五條 設備器具	設備第六條 器具	計	支給額	支給額	計	支給額	支給額			
東京	一二	五五八	一三〇〇・〇三	七・九一	二八九・三六	二二二・三〇	五・六四・九四九	八三・四四	二八八九・三三	七五〇〇	五三九七・三〇						
水戸	二五	七六	一七五・一九四		九五五・三〇	六・〇〇・三六	三〇・六三・八六四	六四・四七	四九七・五二	四五七〇〇	四・〇〇・七〇						
三春	四一	一五八五	九五五・九四五		五三三・八・六七	一三・八五・五七	一九〇・二・四六八	七八・六・六七	九六六・〇・六九四	六九九五〇	二六・六五・〇〇〇						
小出	九	六六三	一三六八・二八		一四〇・四四・八七八	二・二一・三二四	三四・六・七六	一・〇〇・〇三三	二一九六・三三九	一四・一五〇	七・七三・三四〇						
名古屋	五五	三三三四	三三二・六七・五六	四〇七八六	二四九・四七・九九五	二〇・一六・四三三	三〇・六五・九九六	七五〇・七七八	三四〇・四六三	二二三四〇〇	四八〇・四六・三三〇						
神戶	八	四九八	七三三・三四二		五六〇・七七・〇九	一・〇三・一〇三	三五・四六・三四	七・七七・七六	七・八〇・七八八	七〇・四〇〇	七・五八・七〇〇						
味野	五	九六	五二六・九九五		六八二・二・五五〇	二・六三・二六六	一三・六・二七	三九〇・四六	七・七七・九九〇	四元	二・三三・八四〇						
高梁	一	二五	五・四〇七		一三・五・〇八	三三・六・〇〇	三十四・四〇四	二六・〇〇一	一〇一・六七〇	四元	五・六六・三三〇						
尾道	六	二五	四四・五七・五六	八三・二・四四	三八三・〇六・七三	三・〇〇・五三三	二四・七・〇八八	一七・六・二七六	四八五・六・〇三九	四七九五〇	六・〇一・四〇〇						
三田	一三	八三	一〇一・三六・二九		九五二・〇・五七六	四・四・〇・三三	一七・七八・三九	三二・六・九三	一一一・八五・四九〇	一一〇・五〇	一・八〇・〇八〇						
阪出	九	一四二	一一四・六九・九五		二四六・九・八九六	五・九三・二七〇	一五・六五・三〇	五三・九・二五	一三三・一三・五六	三〇・五〇〇	三・六三・三三〇						
撫養	二六	一六六	五六・五九・四三五	一一三・一・六四八	一四四・九六・四七三	二・八七・四九	一三・二〇・三五三	五八〇・四・四九	一八二・九六・八三六	一五九・一〇〇	二・三五八・〇〇〇						
熊本	五三	二五〇	九五・三六・八一	五・六・三	九九四・一五・七五	六・九四・四・七三	六・一四・二・六九四	七四・〇・七四一	一一二・七・八一八	一七五・六・五〇	五・一六・〇・三〇						
鹿兒島	三〇	三三三	二二二・四・一八〇		二四二・二六・三四	一・六三・九・三二	一・六五・九・一四	二二・四〇・一〇七	三〇〇・八五・〇九七	一三七・一〇〇	六・三三・九・六九〇						
合計	二九三	一五三四	二九〇・九・八三	一七五・五・九一	二〇四・七三・五〇	一六九・〇五・六四七	一九一・六〇・八五七	二八三・三九・三三	二六八四・三三・五九	二四六・五〇〇	二二七・八六・〇〇〇						
内譯	二三八	一三五五	二二二・三〇・二七	一六三・六・一五	九五七・〇・六・三九	一〇五・七六・九五	一五六・九五・九四一	三三〇・三〇・九九	一三六六・七・〇四六	一・一五九・〇五〇	二〇七・六六・三三〇						
年四十三 年度十分	五五	一七三三	九五七・一・七六六	八八・八・六	一一七・六九・九一	六三・二九・五五	三四・六五・六五	六一・九・九七三	一三三・七六・七三	一七・七・四三三	四・〇二〇・八九〇						

備考

一 交付金額計欄左傍附記ハ厘位切捨額ニシテ内書トス

二 交付金支給人員ハ煎熬場所屬ニ依リ調査計上ス若二箇町村以上ニ涉ルモノアルトキハ重ナル方ニ計上シ他ノ一方ニハ左傍ニ外書附記ス

公債ニ在リテハ大藏省國債局ニ於テ左ノ規程ヲ發案シ大藏省令第五十號ヲ以テ之ヲ公布シ之ニ依リ給付スルコトト爲シ國債局ハ專賣局ノ通知ニ依リ證券ヲ發行シ日本銀行ヲシテ交付セシメ

タリ

大藏省令第五十號 (明治四十三年十月十日)

製鹽地整理公債規程

第一條 政府ハ明治四十三年法律第四十八號第九條ニ依リ公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還

ス

第四條 本公債初期ノ利子ハ鹽又ハ鹹水製造禁止ノ月ヨリ之ヲ附シ元金償還ノトキハ其ノ償

還ノ月迄之ヲ附ス

第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月及九月ニ於テ其ノ月以前六箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フ

給付スヘキ交付金額五十圓未滿ノ端金ニ在リテハ調査額ヲ以テ豫算ヲ要求シ毎年度追加豫算ト

シテ公布セラレ明治四十三年度ニ在リテハ豫算額二十萬八千二百圓ノ内二十萬七千六百六十五

圓二十一錢ヲ同四十四年度ニ在リテハ豫算額四萬一千圓ノ内四萬二百三圓八十九錢ヲ支給シ行

政訴訟繫屬中ノモノハ大正三年ニ至リ漸ク判決確定シ大正二年度追加豫算額三十二圓三十九錢

ヲ支給シ前後通シテ總額二十四萬七千八百六十九圓十錢ノ現金給付ヲ爲シタリ

豫算	豫算	繰越豫算額	給付額		返納額
			四十三年度整理	四十四年度整理	
明治四十三年度	二〇八、二〇〇、〇〇〇 円	—	二〇七、四四八、六八〇 円	—	二〇七、四四八、六八〇 円
同 四十四年度	四一、〇〇〇、〇〇〇 円	四五九、〇五〇 円	一八四、一四〇 円	四〇、一六一、五八〇 円	四〇、三四五、七二〇 円
同 四十五年	—	一九二、二八〇 円	—	四二、三二〇 円	四二、三二〇 円
同 正元年度	—	—	—	—	—
同 二年	三三、三九〇 円	—	三三、三九〇 円	—	三三、三九〇 円
計	二四九、二三三、三九〇 円	—	二〇七、六六五、二一〇 円	四〇、二〇三、八九〇 円	二四七、八六九、一〇〇 円
					一、三六三、二九〇 円

豫算 (明治四十四年三月十四日)

第一條 明治四十三年度歳入歳出追加額ヲ各七百九拾七萬五千五百貳拾壹圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別册甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條 明治四十三年度歳出豫算追加中別册乙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治四十四年度ニ繰越使用スルコトヲ得

(別册)

甲號 (抄録)

歳出臨時部

大藏省所管

第十九款 公債端金 金貳拾萬八千貳百圓

第一項 公債端金 金貳拾萬八千貳百圓

乙號

大藏省所管

公債端金 歳出臨時部第十九款公債端金第一項

豫算 (明治四十五年二月二十九日)

第一條 明治四十四年度歳入歳出追加額ヲ各參百九拾貳萬七千七百七圓ト定ム其ノ款項ノ金額

ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條 明治四十四年度歳出豫算追加中別冊丙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治四十

五年度ニ繰越使用スルコトヲ得

(別冊)

甲號抄錄

歳出臨時部

大藏省所管

第十九款 公債端金 金四萬千圓

第一項 公債端金 金四萬千圓

丙號抄錄

大藏省所管

公債端金 歳出臨時部第十九款第一項

豫算抄錄 (大正三年三月十四日)

第一條 大正二年度歳入歳出追加額ヲ各七百六拾萬九千八百八拾貳圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ

別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

甲號抄錄

歳出臨時部

大藏省所管抄錄

第十七款 公債端金 金壹萬六千貳拾壹圓

第一項 公債端金 金壹萬六千貳拾壹圓

交付金見込額ハ三百二十萬圓ニシテ兩年度整理ニ依リ下付シタル交付金額ハ二百六十八萬四千三百六十九圓十錢ニシテ法律ニ於テ限定シタル前記見込額ニ達セサルコト五十一萬五千六百三十圓九十錢ニシテ豫定ノ整理ヲ遂行シタルモノトス斯クノ如ク見込高ニ對シ約一割六歩ヲ剩スニ至リタルハ實行ニ際シ多少整理地ノ變更ヲ爲シタルモノアルト交付金ヲ下付スヘキ物件ニ付命令ヲ以テ制限ヲ加ヘ交付金不足ノ危險ヲ避クルニカメタルトハ其ノ主ナル原因ナリトス整理ノ結果

整理ノ結果ハ内地鹽減少ノ補充トシテ臺灣鹽ノ移入及關東州鹽ノ輸入ヲ増加シタルヲ以テ專賣收益ハ自カラ増加スルニ至レリ然ルニ整理ノ目的ハ專賣收益ノ増加ニ非スシテ經費ヲ節約シ鹽價ヲ低減セムトスルニ在リシヲ以テ整理ニ伴ヒ官制ヲ改正シ官署ノ廢止職員ノ減少等ヲ實行シ以テ經費ヲ減縮シ一方ニハ増加シタル收益ヲ以テ政府ニ於ケル回送鹽ノ數量ヲ増加シ販賣官署ヲ増置シ漸次回送費ノ政府負擔率ヲ引上ケ以テ鹽價ヲ平均シ之カ引下ヲ圖リタリ其ノ實行ニ關シテハ各事項ニ關スル章ニ讓リ爰ニ之カ記述ヲ略スルモ其ノ成績ニ付之ヲ見ルトキハ豫期ノ如ク克ク整理ノ目的ヲ達シ得タルヲ看ルヘキナリ

製鹽禁止地ノ利用及製鹽從業者ノ轉業等ニ關シテモ敢テ之ヲ放任スルナク所轄專賣支局ヲシテ地方官公衙其ノ他地方ノ有志者等ニ懇議シ之カ善後ニ付指導ヲ爲サシメ關係者ヲシテ認マル處ナカラシメムコトニ努メ給付シタル交付金ノ如キモ之カ使途ニ於テ交付ノ趣旨ニ悖ラシメサルコトヲ期シ注意ヲ與ヘシメタリシヲ以テ禁止後ニ在リテモ不良ナル結果ヲ見ルニ至ラザリシハ亦以テ好蹟ヲ得タリシモノト云フヘシ